

こうちょうしつ
校長室より



2021.9.24 No.22

じどう
児童のみなさんへ

こんしゅう がっこう く みっかかん いっしゅうかん ま
今週は学校に来る日が三日間しかなかったのですが、一週間があつという間に
す かん
過ぎた感じがします。21日(火)は「中秋の名月」でした。大きくてきれいな
つき
月でしたが、みなさんも見ましたか？この日は「月見団子」をお月様にお供えし
てそれを食べるという風習があります。みなさんも「月見団子」を食べました
か？ こうちょうせんせい
校長先生は、お団子を1個食べました。とてもおいしかったです。9月20
日から 26日まではお彼岸です。お彼岸は、 ひがん ひがん しぜん せんぞさま かんしゃ
自然やご先祖様に感謝をささげる
ぶっきょう でんとうぎょうじ にほん ひがん はかまい い ぶんか
仏教の伝統行事です。日本ではお彼岸にお墓参りに行く文化もあります。みな
さんの中にもお墓参りに行った人もいるかもしれませんね。そして、お彼岸の時
にお供えするのが「おはぎ」です。「おはぎも食べました！」という人もいるか
もしれませんね。 ひがん しゅう ちゅうしゅう めいげつ
お彼岸の週に「中秋の名月」もあり、
こんしゅう いちしゅうかん
今週はとてもおいしい一週間でもありました。

ひがん ころ さ はな
お彼岸の頃に咲く「ヒガンバナ」という花があります
が、みなさんは見たことがありますか？ むらかみりよくちこうえん
村上緑地公園で
は、たくさんのヒガンバナが見られるんですよ。 しやくしよ
市役所の
ホームページではドローンで さつえい えいぞう み
撮影した映像も見られます。



保護者の皆様へ

コロナの感染者も一時期に比べるとずいぶん減ってきました。とはいっても、まだ夏休み前の状態までは戻っていない気がします。ただ、ありがたいことにご家庭の協力や子供たちの努力のおかげで、いまのところはクラスターが発生することなく学校運営ができています。何度も繰り返しますが、学校でできることは「マスクの着用・換気・手洗い・密にならない・消毒」これしかありません。これをしっかり守っていただくだけです。子供たちが帰った後、先生たちは教室やドア、トイレ、手すりなど毎日消毒しています。9月末で緊急事態宣言も解除されそうですが、これからも気を緩めることなくしっかりと感染予防に努めていきたいと思えます。

さて、昨年度も書きましたが学校では学習の予定や記録を書く「週案」というものがあります。今週、先生たちの週案を読んでいて「なるほどなあ。」と思ったことがありましたので紹介します。

「一週間を振り返るとコロナ禍の学校やクラスの決まりを守らない子が気になってしまい、叱っていることが多かった。コロナがなかったら自分は叱っていないし、児童も嫌な思いをしないで済んでいたんだろうなと思った。叱ってばかりでなく、視野を広くもち、ほめたり認めたりすることも大切にしていきたい。」本当にそうだと思います。「コロナがなかったら…」先生たちはみんなそんなふうに思いながら子供たちに注意してくれているのでしょう。子供たちもきっと「コロナがなかったら…」といろいろな場面で思うことでしょう。先生たちだってもっと子供たちをほめたり認めたりしたいのに、マスクがずれていれば注意する、友達とくっついていたら注意する、葛藤しながら子供たちと過ごしているのが伝わってきます。もう一人の先生の週案です。

「子供たちはコロナ対策で休み時間なども自分の席で過ごすことになっています。私は『かわいそうだな、早くコロナ終わらないかな…』と思っていたのですが、子供たちが『マンガ・小説係』というものを創設し、休み時間、黙々と作っています。(もちろん全員ではないですが…)それぞれが作った小説やマンガを持ち寄り、雑誌にするそうです。子供たちのアイデア・パワーはすばらしいな、と感心しました。完成してクラスで読み合うのが楽しみです。」

すばらしい子供たちですね。「おかれた状態でいかに楽しむかを考える」こんなことが小学生でできたら、これから先大人になって、どんな困難なことがあっても乗り越えられるのではないだろうか、と思いました。二人の先生の週案を読んで、先生たちの日々のがんばりと子供たちのアイデアのすばらしさに心を打たれました。子供たちに負けないように、私たちも学校で何ができるのか、どうすればできるのかをしっかりと考えていきたいと思えます。